



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 東海染工株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八代 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男

TEL 052-581-8141

四半期報告書提出予定日 平成24年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,623	△2.8	205	—	113	—	85	△83.6
23年3月期第3四半期	10,934	△2.5	△148	—	△197	—	521	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 8百万円 (△98.0%) 23年3月期第3四半期 430百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	2.47	—
23年3月期第3四半期	15.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,691	4,521	31.6
23年3月期	15,381	4,615	28.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,321百万円 23年3月期 4,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,600	△1.4	380	86.8	270	154.9	240	△60.4	6.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)
詳細は、(添付資料)3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	36,142,529 株	23年3月期	36,142,529 株
24年3月期3Q	1,508,856 株	23年3月期	1,508,605 株
24年3月期3Q	34,633,402 株	23年3月期3Q	34,664,261 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災や原子力発電所事故の影響により一時的に大きく低迷しましたが、各企業の生産活動の持ち直しにより回復傾向に転じました。しかしながら、歴史的な円高の長期化は、国内輸出企業にとって厳しい逆風となっており、新興国の成長鈍化や欧州財政金融危機の深刻化など、国内外ともに景気の先行き不透明感は払拭されないまま推移しております。

繊維業界におきましては、店頭における衣料品販売が、震災の影響により一時的に落ち込みましたが、消費マインドの回復や節電意識の高まりもあり、クールビズ対応などの機能素材を活用した商品の販売が伸びるなど一部では明るさが見られました。

染色加工業界におきましては、円高により繊維製品の海外生産移転が更に加速し、昨年来からの綿価格相場の乱高下に伴う客先の発注量抑制など厳しい環境が続きましたが、流通段階における在庫調整によってユニフォーム関連を中心に受注環境が回復する分野もあり、市場における需要はわずかではありますが回復に向かいつつあります。

このような経営環境の下、当社グループでは、収益力を高め業績改善を図るために、主力の染色加工事業におきまして、国内では、前期に実施した織物加工事業の集約と磐田事業所の新設により再構築した新たな事業体制の下で、効率的な生産に努めると共に、需要が旺盛なユニフォーム関連商品や機能加工商品の受注増加に注力しました。その一方で、海外におきましては、インドネシア子会社、タイ子会社とも内地向け受注拡大に加え、日本向けの受注・販売の更なる拡大・増量にも積極的に努めました。また縫製品販売事業では、インドネシア生産を活用した製品販売の構築と拡大に取り組み、保育サービス事業では、保育園運営の効率化を進めると共に保育所件数の更なる増加に努めております。

これらの取り組みの成果により、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,623百万円（前年同期比2.8%減、310百万円減）と主力の染色加工事業の売上高は前年同期比2.1%増収となりましたが、円高に伴う海外子会社売上高の邦貨換算額減少の影響に加え、縫製品販売事業におきまして不採算な取引を選別したことなどにより減収となりました。一方、利益面では、営業利益は205百万円（前年同期は営業損失148百万円）、経常利益113百万円（前年同期は経常損失197百万円）と大幅な改善を果たし、営業利益、経常利益とも第3四半期連結累計期間としては4期ぶりに黒字回復をしております。

なお、法人税等を控除した四半期純利益は85百万円（前年同期比83.6%減、436百万円減）と、四半期純利益が前年同期に比べ大幅な減益となりましたが、これは前期は名古屋事業所の工場跡地一部売却に伴う固定資産売却益（特別利益）を計上したためです。

セグメントの業績は次のとおりであります。

染色加工事業

加工料部門は、国内におきまして、無地染・プリント加工とともに需要が拡大している機能加工商品の拡販に努めたほか、ユニフォーム関連商品の受注拡大に取り組みました。加えて前期における婦人カジュアル向け加工を得意とする磐田事業所の新設による増収効果が当期に全面的に寄与した結果、国内の加工料部門は順調に売上を伸ばし増収となりました。

一方、海外におきましては、インドネシア子会社では、綿花高騰による受注環境の悪化や電気料金等の用役費の値上げなど厳しい経営環境が続きましたが、好調な内需に支えられ、内地向け受注が堅調に推移したほか、縫製品販売部門と連携するインドネシアでの縫製品一貫生産拡大への取り組みを背景として日本向け加工も増産・拡大しております。

タイ子会社でも、綿花価格乱高下の影響で客先の発注抑制により内地・輸出向けとも受注確保に苦戦しましたが、タイ国内生産の生地を活用した日本向け高付加価値加工の受注拡大に努めたほか、受注内容や数量に応じて機械設備の部分集中稼働を実施するなど弾力的な操業に努め、生産コストの低減に取り組みました。

これらの成果により、加工料部門は好調に推移し売上高は7,225百万円（前年同期比5.2%増、355百万円増）と増収となりました。

テキスタイル販売部門は、国内におきましては、ユニフォーム関連商品向けの受注が堅調に推移したこともあり売上を伸ばしましたが、インドネシアにおきましては、生地価格の高騰やインドネシア政府による繊維セーフガード発令の影響によって欧州向け輸出が落ち込むなど苦戦しました。この結果、テキスタイル販売部門の売上高は1,597百万円（前年同期比9.9%減、175百万円減）と円高による現地通貨の邦貨換算額減少の影響も加わり減収となりました。

以上の結果、染色加工事業は、主力の加工料部門の業績が大幅に改善し、売上高は8,822百万円（前年同期比2.1%増、180百万円増）と増収となり、営業利益は82百万円（前年同期は営業損失242百万円）となり、黒字回復を果たしております。

縫製品販売事業

縫製品販売事業は、インドネシアにおける生産体制の更なる強化を目的に現地駐在員の増員を図るなど同国の縫製品生産一貫体制を活用した販売活動に積極的に取り組んでおります。この取り組みの結果、当期に日本のSPA（製造小売業）・量販店向けの販売を新たに開始しております。しかしながら、前期に主力であった中国生産について不採算取引を中心に縮小したことに加え、現在、インドネシアにおける安定的な供給体制の構築過程でもあり、売上高は910百万円（前年同期比41.6%減、648百万円減）と減収となり、営業損失は4百万円（前年同期は営業利益20百万円）となりました。

保育サービス事業

保育市場の拡大を背景に積極的な営業活動を展開し企業・病院向けの託児所件数とベビーシッター利用者の増加に取り組んだほか、行政から受託運営する保育園の効率運営に努めました。この結果、売上高は967百万円（前年同期比6.4%増、58百万円増）と増収となり、営業利益は37百万円（前年同期比24.6%増、7百万円増）と増益となりました。

倉庫事業

国内染色加工事業の受注回復を背景に荷受取扱数量が順調に増加したことに加えて、徹底した合理化策の成果により、売上高は217百万円（前年同期比2.4%増、5百万円増）と増収となり、営業利益11百万円（前年同期は営業損失15百万円）と黒字回復をしております。

その他事業

当セグメントには、機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業が含まれており、売上高は162百万円（前年同期比14.1%増、20百万円増）、営業利益は72百万円（前年同期比28.4%増、15百万円増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、13,691百万円（前連結会計年度末比11.0%減、1,690百万円減）となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少742百万円、その他流動資産の減少438百万円等によるものです。

負債は、9,170百万円（前連結会計年度末比14.8%減、1,596百万円減）となりました。これは主に短期借入金金の減少1,039百万円、支払手形及び買掛金の減少305百万円等によるものです。

純資産は、4,521百万円（前連結会計年度末比2.0%減 94百万円減）となりました。これは主に四半期純利益の計上85百万円、配当金支払による減少69百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少74百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、通期連結業績予想につきましては、当第3四半期決算を踏まえ検討した結果、平成23年11月10日公表時の業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,176,985	2,036,923
受取手形及び売掛金	4,149,726	3,406,977
有価証券	70,610	-
商品及び製品	337,091	311,702
仕掛品	370,987	428,945
原材料及び貯蔵品	355,477	372,307
繰延税金資産	39,106	30,159
その他	694,249	255,663
貸倒引当金	3,579	8,623
流動資産合計	8,190,654	6,834,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,448,267	1,395,338
機械装置及び運搬具(純額)	2,018,308	1,878,673
土地	1,825,002	1,816,596
建設仮勘定	35,510	60,170
その他(純額)	62,119	56,595
有形固定資産合計	5,389,208	5,207,374
無形固定資産		
のれん	11,086	3,290
その他	40,115	37,762
無形固定資産合計	51,202	41,052
投資その他の資産		
投資有価証券	1,483,107	1,337,774
繰延税金資産	14,687	15,920
その他	258,984	280,161
貸倒引当金	5,875	24,667
投資その他の資産合計	1,750,902	1,609,190
固定資産合計	7,191,313	6,857,617
資産合計	15,381,967	13,691,673

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,447,412	2,142,207
短期借入金	3,644,369	2,605,128
未払法人税等	77,231	18,039
賞与引当金	33,170	21,202
その他	1,315,865	1,197,447
流動負債合計	7,518,049	5,984,025
固定負債		
社債	150,000	120,000
長期借入金	706,952	711,258
退職給付引当金	1,804,461	1,910,822
役員退職慰労引当金	290,607	268,322
環境対策引当金	17,950	17,950
資産除去債務	35,902	36,512
負ののれん	12,949	8,093
その他	230,008	113,639
固定負債合計	3,248,832	3,186,599
負債合計	10,766,881	9,170,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,479	1,400,248
利益剰余金	146,286	162,576
自己株式	335,760	335,548
株主資本合計	5,511,004	5,527,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,315	61,700
為替換算調整勘定	1,109,090	1,143,845
その他の包括利益累計額合計	1,096,775	1,205,546
少数株主持分	200,856	199,317
純資産合計	4,615,086	4,521,047
負債純資産合計	15,381,967	13,691,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	10,934,188	10,623,565
売上原価	9,755,084	9,114,171
売上総利益	1,179,104	1,509,393
販売費及び一般管理費	1,327,693	1,303,665
営業利益又は営業損失()	148,588	205,727
営業外収益		
受取利息	753	265
受取配当金	33,235	37,677
賃貸料	19,232	19,315
負ののれん償却額	4,856	4,856
為替差益	485	-
雑収入	63,652	24,328
営業外収益合計	122,215	86,442
営業外費用		
支払利息	38,085	34,141
退職給付費用	93,832	93,832
為替差損	-	24,553
雑支出	39,015	26,291
営業外費用合計	170,933	178,819
経常利益又は経常損失()	197,306	113,351
特別利益		
固定資産売却益	1,379,491	-
特別利益合計	1,379,491	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	3,251
事業再構築費用	473,691	-
その他	45,840	-
特別損失合計	519,531	3,251
税金等調整前四半期純利益	662,654	110,099
法人税、住民税及び事業税	67,925	32,600
法人税等調整額	32,922	33,422
法人税等合計	100,848	821
少数株主損益調整前四半期純利益	561,806	110,920
少数株主利益	40,014	25,362
四半期純利益	521,792	85,558

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	561,806	110,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119,658	74,016
為替換算調整勘定	11,220	28,474
その他の包括利益合計	130,878	102,490
四半期包括利益	430,927	8,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	385,314	23,212
少数株主に係る四半期包括利益	45,613	31,642

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,509,225	1,433,180	908,957	3,450	10,854,813	79,375	10,934,188	-	10,934,188
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	133,273	126,082	-	209,107	468,463	63,095	531,558	531,558	-
計	8,642,498	1,559,262	908,957	212,558	11,323,276	142,470	11,465,747	531,558	10,934,188
セグメント利益又は 損失()	242,428	20,312	30,477	15,287	206,926	56,177	150,749	2,160	148,588

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,160千円には、セグメント間取引消去2,457千円、のれんの償却額 296千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,752,442	789,545	967,265	27,583	10,536,837	86,727	10,623,565	-	10,623,565
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	70,179	120,920	-	190,043	381,143	75,827	456,971	456,971	-
計	8,822,622	910,466	967,265	217,627	10,917,981	162,555	11,080,536	456,971	10,623,565
セグメント利益又は 損失()	82,891	4,741	37,960	11,708	127,818	72,130	199,948	5,779	205,727

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額5,779千円には、セグメント間取引消去6,075千円、のれんの償却額 296千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。